

| 株主メモ               |                                                                                                                                                                |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度               | 2月1日から翌年1月31日まで                                                                                                                                                |
| 定時株主総会             | 毎年4月                                                                                                                                                           |
| 基準日                | 1月31日                                                                                                                                                          |
| 剰余金の配当の基準日         | 1月31日、7月31日（中間配当を行う場合）                                                                                                                                         |
| 1単元の株式数            | 100株                                                                                                                                                           |
| 株主名簿管理人<br>同事務取扱場所 | 〒541-8502<br>大阪市中央区伏見町三丁目6番3号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部<br>TEL 0120-094-777（通話料無料）                                                                              |
| 公告掲載方法             | 電子公告によりホームページ( <a href="https://www.artner.co.jp/">https://www.artner.co.jp/</a> )<br>に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない<br>事由によって電子公告をすることができない場合は、<br>日本経済新聞に掲載いたします。 |

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座  
管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い  
合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 『IRメール配信』サービス

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報」の更新、  
決算、ニュースリリース、その他重要事項の最新情報を、Eメール  
にて配信いたします（無料）。

下記URLまたはQRコードからサイトにアクセスしてご登録ください。

<https://www.artner.co.jp/ir/mail/>



↑QRコードから  
アクセス

| 当社のIR活動が表彰を受けました！                                                                                                      |                                                                                                                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>日興アイ・アール株式会社</p> <p><b>2018年度全上場企業<br/>ホームページ充実度ランキング</b></p> <p>●総合ランキング「最優秀サイト」<br/>●業種別ランキング「優秀サイト」（サービス業5位）</p> | <p>ゴメス・コンサルティング株式会社</p> <p><b>Gomez IRサイト<br/>ランキング2018</b></p> <p>●総合ランキング「優秀企業」「銀賞」（83位）<br/>●業種別ランキング（サービス業7位）</p> |



## 株式会社アルトナー

東京本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-5 住友不動産新横浜ビル5F

大阪本社 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-18 住友中之島ビル2F



### Webサイト／投資家情報のご紹介

<https://www.artner.co.jp/>

アルトナー

検索



▲トップページ



▲投資家情報（トップページ）▶投資家情報

エンジニアインタビュー等

動画ならではの当社情報を配信中！



▲<https://www.youtube.com/> より

アルトナー公式

検索

# 58 | 2QIR

## 株式会社アルトナー

証券コード：2163

## 第58期 IRレポート【中間】

2019年2月1日～2019年7月31日

特集：Webサイト「読むコンテンツ」ダイジェスト

# Make Value!

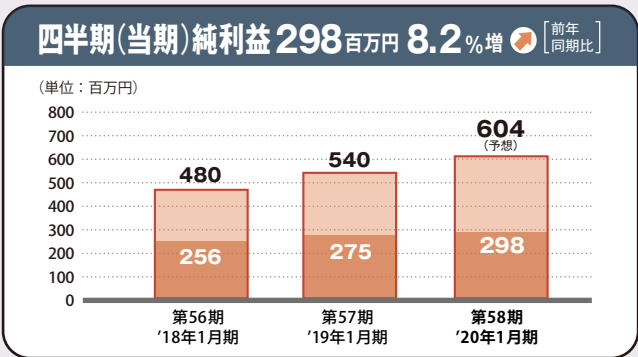
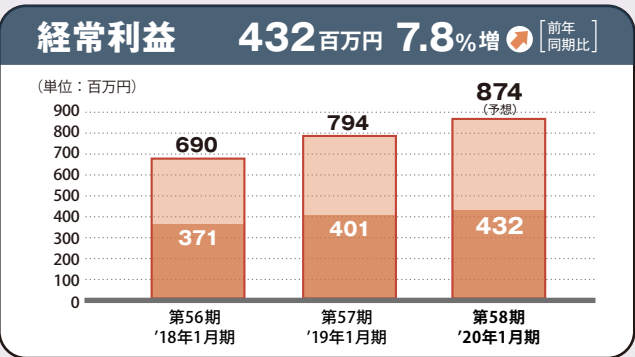
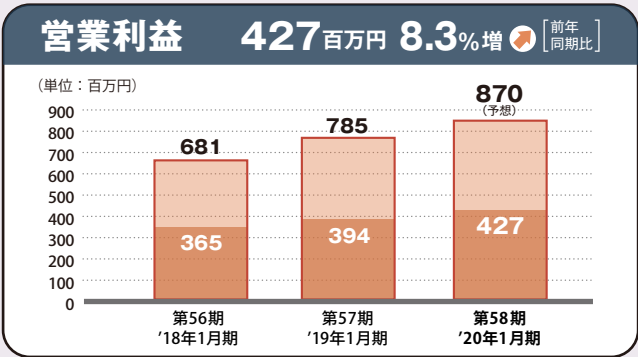
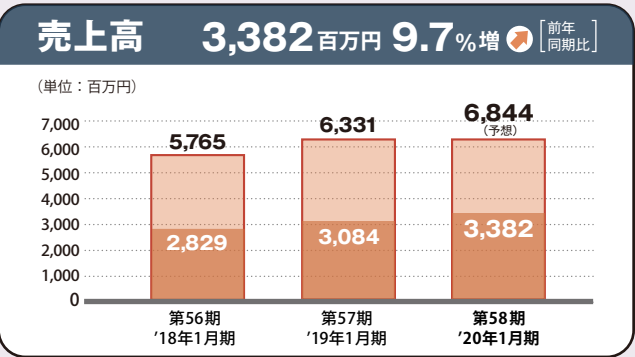


Engineer Support Company



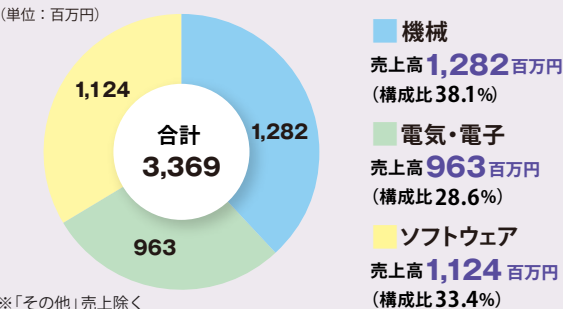
— Create the Future —

ARTNER

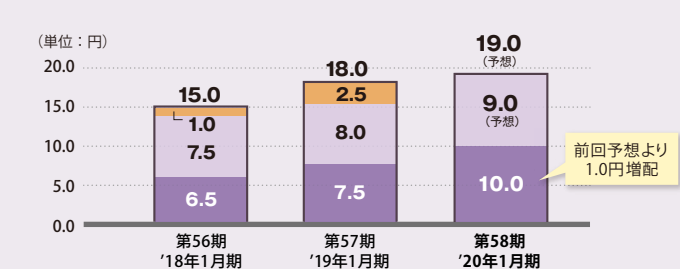


ROE(自己資本当期純利益率)他 経営指標に関する詳細は [▶アルトナーサイトTOP](#) [▶投資家情報](#) [▶業績・財務情報](#) [▶主な経営指標](#)を参照

第58期 第2四半期 分野別売上高 (※)



配当金推移



Top Commitment

第2四半期は、先行投資を吸収し、増収・増益。下期も、通期での6期連続の増収・増益の達成に向けて、事業活動を力強く推進します。

第58期(2020年1月期)第2四半期累計期間の業績、第58期(2020年1月期)業績予想(通期)の進捗、中期経営計画(2019年1月期～2021年1月期)の基本施策の進捗についてご説明させていただきます。

代表取締役社長

関口 相三

今回のご報告とご説明は、2019年1月に移転したラーニングセンターからお届けいたします。後ろは、配属を控えて研修を受ける新卒技術者。

第58期(2020年1月期)第2四半期累計期間の市場環境

情報通信分野をはじめ  
各社からの技術者要請が旺盛。

米中貿易摩擦や日韓関係などの国際情勢の影響を受けて、当社では市場環境を注意深く観察しておりますが、懸念されていた半導体装置関連への悪影響も現時点では顕在化しておりません。結果的に、契約更新や技術者単価の改定も例年以上にスムーズに着地し、新卒技術者の人材要請も例年通り旺盛でした。業種では引き続き自動車関連の技術者要請が堅調に推移する一方で、情報通信関連が突出して伸長しました。これは、当社が進めるソフトウェアに関わる技術者の積極的な採用に伴い、その配属先となる顧客開拓を強化したことの成果といえます。

第58期(2020年1月期)第2四半期累計期間の業績概要

計画的な先行投資の費用を吸収し、  
引き続き前年対比で増収・増益を達成。

第58期の特徴として、例年に比べて先行投資が多いことが挙げられます。投資項目としては、従業員の待遇改善、採用強化のための求人費の増加、スタッフの増員分の人件費、新卒技術者の採用人数の増加に伴う研修期間中の人件費の増加、ラーニングセンターの増床運営、請負・受託事業の強化に伴う社内環境整備です。これらの先行投資費用を受け、第1四半期は、年初計画での想定通り増収・減益となりましたが、第2四半期は事業ボリュームを最大化していく右肩上がりの過程にあり、前年同期比で売上高はもちろん、利益面も上回ることができました。

技術者単価に関しては、単価改定が順調に推移したことにより、上昇いたしました。2019年4月入社の新卒技術者の配属状況も例年通りに推移し、秋口には配属完了見込みです。配属先のお客様からは「昨年の新人さんが非常に頑張ってくれたから、今年もお願いします」と毎年、有難いお言葉と共に、リピートオーダーをいただいております。労働工数に関しては、特殊事情として、5月上旬の長期連休もございましたので、減少傾向となりました。

これらを踏まえ、売上高は3,382百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は427百万円（前年同期比8.3%増）、経常利益は432百万円（前年同期比7.8%増）、四半期純利益は298百万円（前年同期比8.2%増）と、引き続き増収・増益となりました。



#### 第 58 期(2020 年 1 月期) 業績予想 (通期)の進捗

**下期も足元は堅調に推移。  
通期で計画通りの増収・増益を見込む。**

上期においては警戒心を持って市場環境をウォッチしておりました。下期に入り、足元は堅調に推移しておりますが、引き続き国際情勢のリスク環境がございますので、お客様の情報をいち早くキャッチするように努め、先行リスク管理を継続したいと考えております。

第2四半期の段階で、売上高、営業利益ともに計画以上に進捗しており、通期でも計画通りの増収・増益を見込んでおります。

#### 中期経営計画(2019年1月期～2021年1月期)の基本施策の進捗

**セグメント戦略の着実な成果に加え、  
請負・受託事業が大きく伸長。**

「セグメント戦略の推進」では、グループごとの特徴を活かした戦略を取り、成果を上げています。採用エリアと就業エリアの一致を図る環境作りの中で、主にプロダクトバリュー領域の技術者を必要とする東北エリアと九州エリアの新規顧客開拓が進み、東北で50.9%増、九州で54.1%増となりました。今後もハイバリュー、ワイドバリュー、プロダクトバリューという各グループの強みを活かした柔軟な事業展開を進めてまいります。

「多種多様な人材活用の推進」では、シニアエンジニアがプロジェクトの戦力として活躍しており、女性の登録者も増えて、外国人は留学生を中心に採用活動を進めております。請負・受託事業は、プロジェクト数が確実に増加し、売上高ボリュームが増加しております。グループでは、ワイドバリューとプロダクトバリューが中心となっております。今後、さらに

請負・受託プロジェクトを増やししながら、協力会社を含め、多様な人材活用ができる体制を強化したいと考えております。

経営数値目標「技術者数1,000人」の進捗状況は、第2四半期末において、前年期末対比で技術者が141人増え、926人となりました。離職率の改善傾向、キャリア採用の上積み、新卒技術者の10月入社もあり、達成が見えてきております。

(P8の中期経営計画の進捗参照)

#### 「多種多様な人材活用の推進」による相乗効果

**シニアエンジニアの活躍が若手を刺激し、  
現場でスキルを磨く大切さを再認識。**

「多種多様な人材活用の推進」による目に見えない効果も始めています。再雇用したシニアエンジニアの知見を通して、一緒に働く若手エンジニアは有形無形の多くを学ぶことができます。技術的なことのみならず、現役エンジニアとして活躍し続けたからこそ、定年後に第二のステージで働けること、アルトナーでしっかりスキルを磨けばそれが可能なことを知る機会になれば良いと期待しています。

#### 株主・投資家の皆様へ

**当社の強みと特徴を打ち出して、  
さらなる成長と安定配当を期待される企業へ。**

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげさまで、東証一部銘柄に指定されて1年が経過しました。市場環境が変化する中、事業を持続的に成長させ、皆様のご期待に一層応えるべく、第58期は大幅な先行投資を実行いたしました。第2四半期は増収・増益となり、通期の業績予想達成に向けて着実に進んでおります。今後

もより魅力ある企業として邁進し、安定的な配当を実施してまいります。

第58期の中間配当は、当初の予想より1.0円増配し、10.0円となりました。期末配当は9.0円を予定し、年間の普通配当は19.0円を予定しております。

今後とも、皆様の継続的なご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。



研修機器やパソコン画面を囲んで、新卒技術者とはしばし歓談。業務スキルだけでなく、コミュニケーション能力もアルトナーの社員として大切なこと。配属先でも元氣よく挨拶できるよう、人間教育も徹底しています。

特集：Webサイト「読むコンテンツ」ダイジェスト

## アルトナーをより深く知っていただくために。 Webサイトに「読むコンテンツ」が続々登場！

株主の皆様、エンジニアを志望する学生、  
ライフプランやキャリアプランを考える現役エンジニアに向けて、  
アルトナーでは様々なジャンルの企業情報を記事にして  
「読むコンテンツ」として発信しています。  
内容は第一線で働くエンジニアの具体的な業務、  
エンジニアが働きやすい環境をサポートする諸制度について、  
また、CSR活動をレポートした内容など多岐にわたります。  
今回はWebサイトからダイジェストした  
「読むコンテンツ」をご覧ください。

（各コンテンツの詳細をお読みにになりたい場合は、  
Webサイトトップページ▶読むコンテンツからもご覧いただけます）

アルトナーWebサイト  
トップページからも  
ご覧いただけます！



### アルトナーエンジニア

第一線で活躍するエンジニアを紹介するコンテンツ

**レーシングカーのエンジン開発はスピードが勝負。そこに見えたハイレベルなプロジェクトに携わるための3つの条件。**



自動車メーカーで働くエンジニアが思う上流プロジェクトへの参画の条件は「1つ目は、エンジニアなら誰にでもチャンスが巡ってくる。2つ目は、そのチャンスを逃さないように、日々技術的なスキルを鍛えておくこと。3つ目は、そのチャンスに、恐れずに挑戦すること」。

**HILS/MILSシステムで次世代向けガソリンエンジン車のECU開発。最先端プロジェクトに必要なのは「考える力」です。**



オーダー通りのプログラミングができて、それに満足していると、最先端プロジェクトに携わり続けるのは難しい。1つの分野にとらわれずに、幅広い知識を身に付けて、それを考える力に活かせるエンジニアでありたいと、ハイパリュールグループ所属のエンジニアは語ります。

**入社2年目のエンジニアが携わる、鉄道を支える「列車運行管理システム」。目指していたのは、社会を支えるモノ作りでした。**



鉄道を効率よく安全に運行させるためのシステムの品質保証業務を行う、入社2年目のエンジニア。将来は地域の仙台で、被災地の復興と発展に携わるエンジニアになりたいと言う彼にとって、アルトナーは多彩な技術を学べる魅力的な環境でした。

**彼女が目指していたのは「優秀なSE」一択。複合機へ実装するアプリをC言語で開発しながら入社2年目に考えていること。**



将来、優秀なシステムエンジニアになることを目指している入社2年目の女性エンジニア。彼女は開発したアプリの複合機本体への実装を、ある程度の自由度で任せられていることに、楽しさや、やりがいを感じながら日々業務に携わっています。

### エンジニアの生き方

働きやすい環境をサポートする制度、並びにエンジニアの生き方を紹介するコンテンツ

**アルトナーに正社員として入社して、将来、メーカーへの「転職支援」を受けるといった選択肢もあります。**



2013年度よりスタートし、毎年10数人が、転職を成功させている「転職支援制度」。そこには正社員として雇用したエンジニアの転職をあえて支援する背景があります。

**Uターン・Iターンを実現したエンジニア。希望する地域へ問題なく移転するための仕組みとは？**



エンジニアが活躍し続けるためには、ワークライフバランスなど様々な要素を考慮する必要があります。アルトナーでは、将来的に地域を選んで働きたい場合、「エリア限定制度」を利用することが可能です。

**設計開発を続けてきた現役だからこそ、60代で理想の再就職に成功！定年後も仕事に趣味に、セカンドライフを満喫するシニアエンジニア。**



37年間勤めたメーカーで定年を迎え、経験を活かしてアルトナーに再就職を果たしたエンジニア。不安もあったが、今は新たなスキルを吸収することを楽しみながら仕事に取り組んでいます。

**エンジニアを目指す学生へ『4つ』のアドバイスをアルトナーの研修担当から聞きました。**



IoT、5G、AI、自動車の運転支援、エコカー、ロボットなどの先進技術をテーマに、アルトナーの研修担当との対談を実施。エンジニアを目指す学生が学んでおくべきことをまとめました。

**40歳のエンジニアが迎える、大きな分岐点。過去のキャリアを活かした転職こそ新たなスタートでした。**



アルトナーへ転職し「請負・受託」事業のリーダーとして、顧客企業からの設計開発業務をマネジメントするエンジニア。40歳という年齢は、エンジニアにとって大きな分岐点・転機でもあります。

**「たえ宇宙研究であろうが、その夢は叶えられる」——40代エンジニアの新しい挑戦とは？**



アルトナー入社以来、約15年の間に6つのプロジェクトで最先端の制御ソフト開発を担当してきたエンジニア。次なるキャリアステップは、アルトナーで後輩を育てる研修担当への転身でした。

### 教育・研修／CSR

教育・研修の施設、イベント、そして地域社会への貢献を紹介するコンテンツ

**独自の教育でエンジニア一人ひとりのスキルアップを可能にするアルトナー。教育・研修施設「ラーニングセンター」がリニューアル。**



明るく、広く、きれいな「ラーニングセンター」はエンジニア達の研修に最適な環境であり、様々な研究者や技術者が交流する場として集い、大いに盛り上がる中心となるよう期待がこめられた施設です。

**「インターンシップ1日コース」は充実した内容で、リアルな設計開発を体験することができます。**



理系の学生を対象にした「インターンシップ1日コース」は機械系、電気・電子系、情報系の3つのコースがあります。ビジネスマナーから、実践的な設計開発までの体験が可能です。

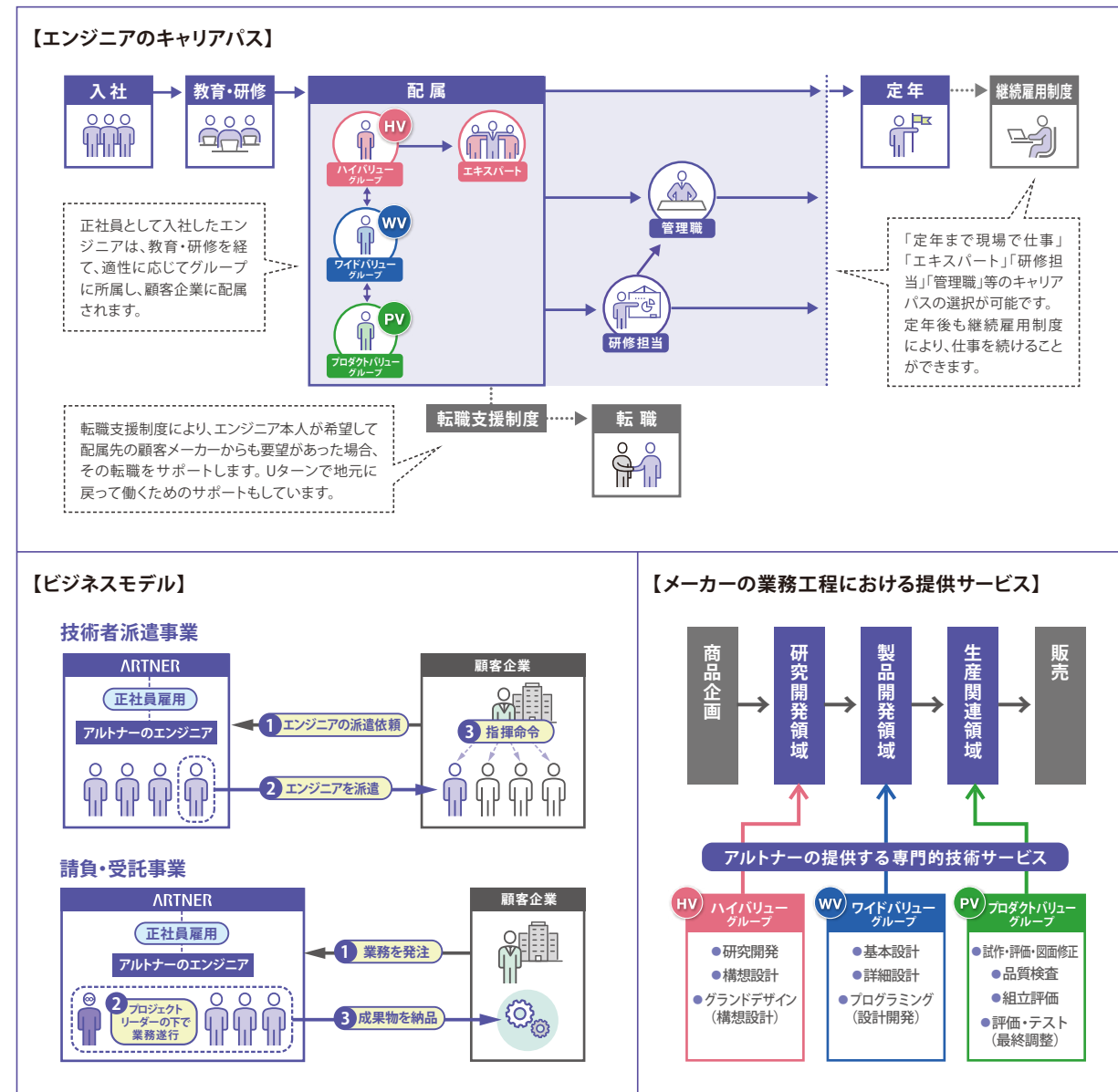
**小学生のためのプログラミング教室は、文部科学省の「小学校プログラミング教育の手引」にも示されている内容です。**



アルトナーはCSR活動の一環として、毎年、春と夏に「小学生プログラミング教室」を研修施設で開催しています。プログラミングが初めての小学生でも、安心して参加できることがポイントです。

## キャリアパス & ビジネスモデル

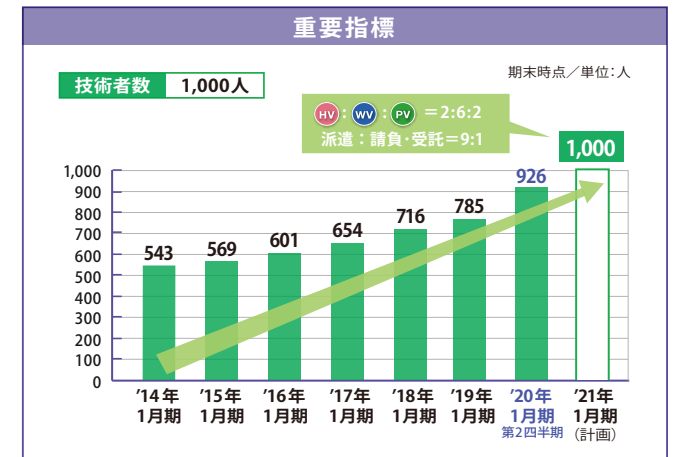
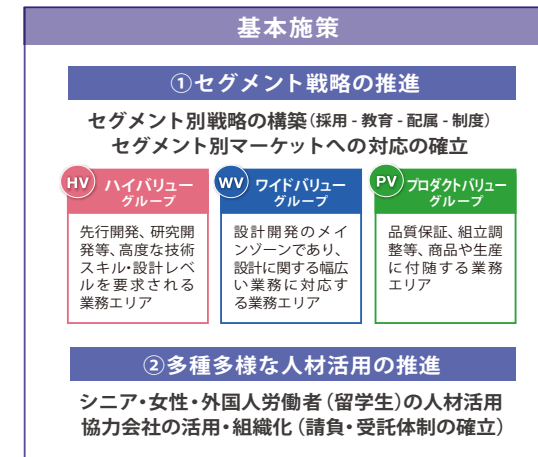
技術開発の強力なパートナーとして、多様なニーズにお応えいたします。



## 中期経営計画の進捗

(2019年1月期 ▶ 2021年1月期)

※詳細はアルトナーサイトTOP ▶ 投資家情報 ▶ 経営方針 ▶ 中期経営計画参照



## アルトナーニュース

【CSR】  
LEGO Mindstormsでモノづくりを体験する、高校生向けインターンシップを開講。

仁川学院高等学校 (兵庫県西宮市) より依頼を受け、7月29日～31日、「LEGO Mindstorms EV3を使ってモノづくりを体験しよう」をテーマにラーニングセンターでインターンシップが開講されました。参加者からは「今回の経験は将来、進路や職業を選択する際に活かそう」という感想もいただき、密度が濃く、多くの収穫があった3日間だったようです。



ロボットを組み立てて動作させるためには、想像するよりも緻密な調整が必要。何回もトライ & エラーを繰り返さなければいけない根気のいる作業に挑戦しました。

【CSR】  
「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けた取り組みをWebサイトに掲載。

アルトナーは、事業を通じて社会課題の解決に貢献し、世界が目標に掲げる「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成を目指します。具体的な取り組みをWebサイトに掲載しました。

<https://www.artner.co.jp/ct-csr/sdgs/>



要約財務諸表

| 貸借対照表(要旨)              |                                 |                                     | (単位：百万円) |
|------------------------|---------------------------------|-------------------------------------|----------|
| 科 目                    | 第57期末<br>前事業年度末<br>2019年1月31日現在 | 第58期<br>当第2四半期会計期間末<br>2019年7月31日現在 |          |
| <strong>資産の部</strong>  |                                 |                                     |          |
| 流動資産                   | 2,857                           | 3,086                               |          |
| 固定資産                   | 406                             | 426                                 |          |
| 有形固定資産                 | 94                              | 99                                  |          |
| 無形固定資産                 | 65                              | 66                                  |          |
| 投資その他の資産               | 246                             | 260                                 |          |
| 資産合計                   | 3,264                           | 3,512                               | ポイント①-④  |
| <strong>負債の部</strong>  |                                 |                                     |          |
| 流動負債                   | 600                             | 621                                 |          |
| 固定負債                   | 330                             | 371                                 |          |
| 負債合計                   | 930                             | 992                                 | ポイント①-⑥  |
| <strong>純資産の部</strong> |                                 |                                     |          |
| 株主資本                   | 2,329                           | 2,516                               |          |
| 資本金                    | 238                             | 238                                 |          |
| 資本剰余金                  | 168                             | 168                                 |          |
| 利益剰余金                  | 1,923                           | 2,110                               |          |
| 自己株式                   | △0                              | △0                                  |          |
| 評価・換算差額等               | 4                               | 4                                   |          |
| その他有価証券評価差額金           | 4                               | 4                                   |          |
| 純資産合計                  | 2,333                           | 2,520                               | ポイント①-③  |
| 負債純資産合計                | 3,264                           | 3,512                               |          |

POINT

ポイント① 貸借対照表

- ④総資産は、売上債権、前払費用の増加により、前事業年度末に比べ248百万円増加。  
⑥負債は、預り金、退職給付引当金の増加により、前事業年度末に比べ61百万円増加。  
③純資産は、利益剰余金の増加により、前事業年度末に比べ187百万円増加。

ポイント② 損益計算書

- ④売上高は、技術者数の前年同期比での増加、稼働率の高水準での推移、2019年4月入社の新卒技術者の当初予定より前倒し配属により、稼働人員は前年同期を上回り、また、技術者単価も、前年同期を上回ったことにより、前年同期比9.7%増の3,382百万円。  
⑥利益面においては、先行投資により、第1四半期において費用が増加したものの、売上高の増加により吸収され、営業利益は前年同期比8.3%増の427百万円、経常利益は前年同期比7.8%増の432百万円、四半期純利益は前年同期比8.2%増の298百万円。

※百万円未満を切り捨てています。

| 損益計算書(要旨)            |                                                    |                                                    | (単位：百万円) |
|----------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------|
| 科 目                  | 第57期<br>前第2四半期 累計期間<br>2018年2月1日から<br>2018年7月31日まで | 第58期<br>当第2四半期 累計期間<br>2019年2月1日から<br>2019年7月31日まで |          |
| <strong>売上高</strong> |                                                    |                                                    |          |
| 売上原価                 | 1,906                                              | 2,084                                              |          |
| 売上総利益                | 1,177                                              | 1,298                                              |          |
| 販売費及び一般管理費           | 782                                                | 870                                                |          |
| 営業利益                 | 394                                                | 427                                                | ポイント②-③  |
| 営業外収益                | 6                                                  | 6                                                  |          |
| 営業外費用                | 0                                                  | 1                                                  |          |
| 経常利益                 | 401                                                | 432                                                | ポイント②-③  |
| 税引前四半期純利益            | 401                                                | 432                                                |          |
| 法人税、住民税及び事業税         | 141                                                | 143                                                |          |
| 法人税等調整額              | △16                                                | △9                                                 |          |
| 四半期純利益               | 275                                                | 298                                                | ポイント②-③  |

| キャッシュ・フロー計算書(要旨)                  |                                                    |                                                    | (単位：百万円) |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----------|
| 科 目                               | 第57期<br>前第2四半期 累計期間<br>2018年2月1日から<br>2018年7月31日まで | 第58期<br>当第2四半期 累計期間<br>2019年2月1日から<br>2019年7月31日まで |          |
| <strong>営業活動によるキャッシュ・フロー</strong> |                                                    |                                                    |          |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー                  | △44                                                | △29                                                | ポイント③-④  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー                  | △90                                                | △110                                               | ポイント③-④  |
| 現金及び現金同等物の増減額                     | 86                                                 | 18                                                 | ポイント③-④  |
| 現金及び現金同等物の期首残高                    | 1,683                                              | 2,050                                              |          |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高                  | 1,769                                              | 2,069                                              |          |

POINT

ポイント③ キャッシュ・フロー計算書

- ④当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ18百万円増加。  
⑥営業活動CFは、売上債権の増加、法人税等の支払があったものの、税引前四半期純利益、退職給付引当金の増加により、157百万円のプラス。  
③投資活動CFは、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出により29百万円のマイナス。  
③財務活動CFは、配当金の支払により、110百万円のマイナス。

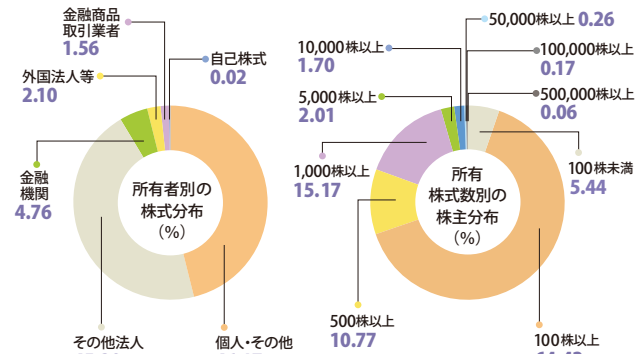
会社・株式情報 (2019年7月31日現在)

| 会社概要  |                              |       |                                                      |
|-------|------------------------------|-------|------------------------------------------------------|
| 名 称   | 株式会社アルトナー                    | 研修拠点  | ラーニングセンター                                            |
| 設 立   | 1962年 9月18日                  | 事業内容  | 1)機械 2)電気・電子 3)ソフトウェア<br>上記分野の基礎研究、設計開発、及び開発技術等の周辺業務 |
| 代 表 者 | 代表取締役社長 関口 相三                | 社 員 数 | 1,024人                                               |
| 株 式   | 東京証券取引所市場第一部<br>(証券コード:2163) | 許可番号  | 労働者派遣事業(派27ー020513)<br>有料職業紹介事業(27ーユー020355)         |
| 資 本 金 | 2億3,828万4,320円               |       |                                                      |
| 本 社   | 東京／大阪                        |       |                                                      |
| 事業拠点  | 横浜／大阪／宇都宮／名古屋                |       |                                                      |

役員一覧

|              |        |
|--------------|--------|
| 代表取締役社長      | 関口 相三  |
| 取締役 役        | 奥坂 一也  |
| 取締役 役        | 張替 朋則  |
| 取締役 役        | 江上 洋二  |
| 取締役 役        | 佐藤 宗   |
| 取締役(常勤監査等委員) | 三谷 高昭  |
| 取締役(監査等委員)   | 金井 博基  |
| 取締役(監査等委員)   | 福室 孝三郎 |

株式の分布状況



株式の状況

|          |              |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 36,000,000 株 |
| 発行済株式の総数 | 10,627,920 株 |
| 株主数      | 3,527人       |

大株主の状況

| 氏名または名称                   | 所有株式数(株)  | 割合(%)※ |
|---------------------------|-----------|--------|
| 株式会社関口興業社                 | 4,310,000 | 40.56  |
| アルトナー従業員持株会               | 949,348   | 8.93   |
| 大阪中小企業投資育成株式会社            | 480,000   | 4.51   |
| 張替 朋則                     | 270,240   | 2.54   |
| 奥坂 一也                     | 254,880   | 2.39   |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)   | 167,400   | 1.57   |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 106,300   | 1.00   |
| 江上 洋二                     | 101,552   | 0.95   |
| アルトナー役員持株会                | 96,700    | 0.91   |
| 上野 修                      | 80,000    | 0.75   |
| 合計                        | 6,816,420 | 64.15  |

※発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合